

第78回 東北総合女子ソフトボール選手権大会 兼

第78回 皇后盃全日本総合女子ソフトボール選手権大会東北予選会

開 催 要 項

- 1 主 催 東北ソフトボール協会
- 2 主 管 青森県ソフトボール協会 中南ソフトボール協会
- 3 特別協賛 ナガセケンコー株式会社
- 4 会 期 令和 8年 7月18日(土)～19日(日) *予備日なし
- 5 会 場 平川市平賀多目的広場
青森県平川市新館野木和48 TEL0172-43-0660(ひらかドーム)
- 6 参加チーム 8チーム(前回優勝チーム1、開催県代表チーム1、各県代表チーム6)
*前回優勝:富士大学(岩手県) 開催県チーム:青森県
- 7 参加資格
(1) 令和8年度(公財)日本ソフトボール協会に各支部を通して登録したクラブ女子、実業団女子、大学女子チームであること。
(2) 所属長が人物、身体ともに適当と認めた者であること。
- 8 出場資格
(1) 各県ソフトボール協会の所定の予選会または推薦により出場権を得たチームであること。
(2) 選手の構成は、最終予選終了時まで(公財)日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申し込み以後のメンバー変更は認めない。
- 9 チーム編成
(1) チーム編成は、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内とする。但し、監督・コーチ・スコアラーが選手を兼ねる場合は、選手総員数内で選手登録をしなければならない。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること。
※トレーナー(トレーナーの業務を行う者に限る)1名、通訳1名(外国人選手がいる場合に限る)のベンチ入りを認める。
※大学チームに限り、部長のベンチ入りを認める。
※ベンチ入りする者は全員、打順表(ラインアップカード)に氏名を記入すること。
(2) チームの中にいずれかの資格を有する者がベンチ内にいること。大会出場に当たっては、以下の資格証を持参すること。試合前のベンチ入りの際に確認する。なお、スコアラーについては、登録カードを確認する。
①公認ソフトボールコーチ1～4 ②スタートコーチ(学生が監督をする場合のみ)
- 10 申込方法
別紙関係用紙(青森県ソフトボール協会HPからもダウンロードできます)に必要な事項を明記の上《参加申込書では各県協会の認印を受ける》、(公財)日本ソフトボール協会(B表)の写し又はシクミネット登録票の写しを添え、7月3日(金)までに到着するよう、下記あてに申し込むこと。できる限り電子メールでの申し込みをお願いいたします。
※B表の写し等の提出は、東北ソフトボール協会申し合わせ事項第1-(4)による。
〒036-0103 青森県平川市本町村元8-2
青森県ソフトボール協会 事務局長 藤田 道成 宛
携帯 090-1496-2839 FAX 0172-44-5899 メール fujimichi0829@outlook.jp
※提出物:参加申込書(本部用・プログラム用)、登録用紙(B表)又はシクミネット登録票の写し
- 11 参加料 1チーム 35,000円
参加料振込先 青森みちのく銀行 篠田支店
口座番号:(普)1001989
口座名:青森県ソフトボール協会 会長 沼澤 憲三(ヌマサワ ケンゾウ)

ご依頼人名には必ずチーム名を記載してください。

※領収証の発行は原則いたしません。振込金受領書等を領収証の代わりとさせていただきます。
(特別に必要なチームは申し出て下さい。) ☆振込手数料は参加チーム負担。

- 12 競技規則 2026年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 13 試合球 (公財)日本ソフトボール協会検定革製 12 インチ (ナガセケンコー) とし、主催者が準備する。
- 14 試合方法
(1) トーナメント方式による。
(2) 引き分け試合か無効試合の場合のみ、サスペンデットゲームを採用する。
(3) 得点差によるコールドゲームを採用する。(3回15点、4回10点、5回以降7点差以上)
- 15 表彰
(1) 優勝チームには、賞状・優勝旗(持ち回り)を授与する。準優勝・第3位のチームには賞状を授与する。 ※前回優勝 富士大学
(2) 第3位のチーム(2チーム)の表彰は、準決勝試合終了後に行う。
- 16 組合せ 令和8年7月7日(火)18:30より、平川市ひらかドーム会議室において主管者立ち合いのもと公開代理抽選によって決定する。但し、前回優勝及び準優勝チームをそれぞれシードするものとする。
- 17 監督会議 7月18日(土)8:30より、会場本部付近で開催するので、出場チームの監督は必ずユニフォームを着用の上、出席すること。
- 18 開会式・閉会式 開会式 会場の多目的広場野球場で、9:00から行う。
閉会式 決勝戦終了後に行う。
- 19 傷害等の措置 大会参加中の傷害事故については、救急車手配および応急措置の他は、主催者は一切責任を負わない。必ず傷害保険等に加入して参加すること。器物等の破損が生じた場合は、当該者または当該チームが弁償する場合がある。
- 20 費用 出場選手等の旅費・滞在費等は、すべて出場チームの負担とする。
- 21 宿泊手配等 宿泊・弁当等の斡旋はしないので、各チームで手配すること。
- 22 その他
(1) 出場チームは必ず監督に引率され、監督は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
(2) 本大会の優勝チームに対し、9月12日(土)~14日(月)に宮崎県宮崎市等で開催される全国大会への出場権を与える。 *今年度の東北出場枠1
※全国大会で出場補充要請があった場合(東北地区は補充順位第2位)は、準優勝チームを推薦する。
(3) 本大会で棄権したチームの取り扱いについては、次のとおりとする。
ア、原則として次年度の当該大会への出場を停止する。ただし、事故等による理由で棄権する場合は、適用しない。なお、この決定については、東北ソフトボール協会常務理事会において協議する。
イ、棄権チームは、その顛末を明らかにするための報告書を、所属支部協会および大会会長に提出する。
(4) 組合せ抽選後の出場辞退(チームの変更を含む)は、大会期間中の変更とみなし、前号同様の措置とする。
◆ウイルス感染・発症等による場合は、上記の(3)(4)を適用しない。また、申し込み時に徴収した参加料については、日本協会が主催する全日本大会に準じて対応する。
(5) 雷鳴がかすかにでも聞こえたら、直ちに試合を中断し、雷鳴が止んで20分以上経過してから再開する。
(6) ベンチに入ることができる人数は、本大会登録人数とする。また、打順表(ラインアップカード)に、ベンチに入る者すべてを記入すること。
(7) 試合前等の練習は、多目的グラウンドに設置する球場外で行うようにお願いします。
(8) 荒天等により試合が大会日程中に消化できない場合は、主催者で協議のうえ決定する。
(9) その他詳細については参加チームに直接連絡するとともに、大会に関する不明な点は、前記の大会事務局にメール等で問い合わせること。